

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 054	提案機関名 神奈川県環境農政局緑政部水源環境保全課
要望問題名 シカ管理捕獲と森林整備の効果的連携に向けた水源林整備地におけるシカの行動の解明について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 水源の森林づくり事業では、水源林の確保が進み、整備による効果も着実に見えてきている。一方で、神奈川県ニホンジカ管理計画では、こうした水源林整備が行われている中標高域の森林を生息環境管理エリアとしてシカの主要な生息域として位置づけている。 これまで、水源林の整備によって下層植生が回復し土壌が保全されることは明らかになっており、整備による混交林化への移行に関しては林分構造等のモニタリング調査により現在検証中の段階である。しかし、丹沢山地では依然としてシカの採食影響は続いており、さらに近年は箱根山地や小仏山地においてもシカの影響が見られるようになってきている。このため、シカの生息する環境下において整備による着実な下層植生回復・維持を行うためには、水源林整備地におけるシカの影響を正確に把握することが一層重要である。 水源林整備地のモニタリング調査では、これまでも継続的にセンサーカメラによるシカ生息状況調査が実施されてきたが、シカ生息の有無等の情報にとどまり、整備との関係はあまり検討されていない。そこで、既存の調査結果も活用するとともに、整備による下層植生回復状況とシカによる整備地における採食等の行動との関係について情報収集し、シカ管理捕獲と森林整備の効果的な連携に向けた基礎的知見の取得を要望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	自然環境保全センター	担当部所	研究企画部研究連携課
対応区分	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) ニホンジカの統合的管理手法の確立			
対応の内容等 水源林整備事業のモニタリングでは、植生調査等と併せてセンサーカメラによるニホンジカ生息状況調査を実施しています。また、当センター野生生物課でも、シカ管理捕獲事業の効果検証の一環としてセンサーカメラによるニホンジカ生息状況調査を実施しています。これらの既存のセンサーカメラのデータ解析を行うとともに、センサーカメラを利用した生息密度推定法などの新たなモニタリング手法について有効性を検証し、森林整備とシカの行動、さらに効果的なシカ捕獲の手法について引き続き研究を進めてまいります。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			